

20231125 実施

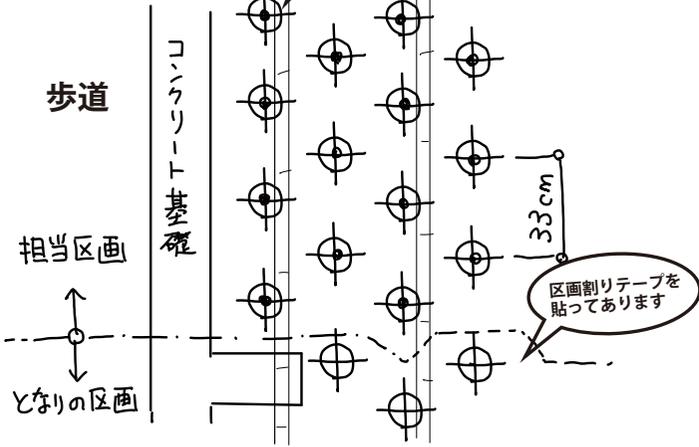
配列について

落葉と常緑を交互にし、まだらの並びになるように厳密に配列をデザインをしています。2m 長さ毎にあらかじめ担当区画を割り振りをしています。区画番号がわかるように目印をしておきます。

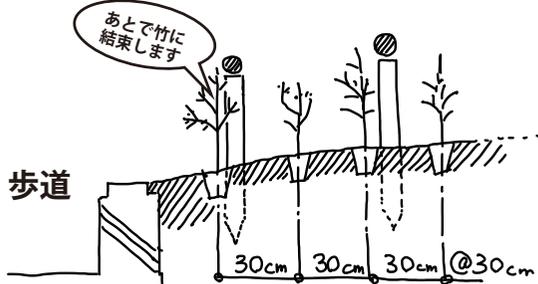
別紙「配列表」に基づいて番号順に植えてください。

横方向は2m の中に6本。約33cm 間隔に指定した順番に樹種を植えます。列ごとに交互になるように千鳥(ちどり)配置にしてください。立木や既存灌木などによりどうしても植えられない部分は植え残しても大丈夫です。トレイに苗木を戻しておいてください。小さいお子様も参加しているので、ゆっくり確実に、時々周辺の紅葉を見上げながら怪我のないように楽しんで植えてください。

竹に印してある場所に植える



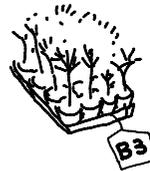
平面図 互い違い=千鳥(ちどり)配置します ※担当区画によって列や本数が異なります



断面模式図 苗木は2~9列あります

配布されるもの

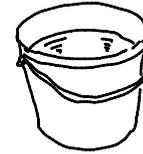
作業する区画の近くに置いておきます



区画ごとに必要な苗木がセットされたトレイ



苗木はこんな感じ



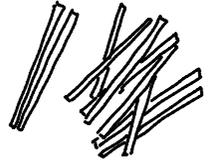
水バケツ

苗木を漬け込みます



肥料バケツ

土壌活性剤「ワカホ」



割り箸

目印用

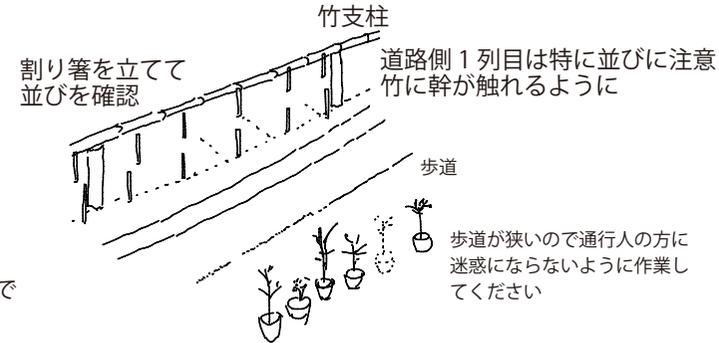
植え付け手順

① 植え付ける場所に目印を挿す

- 配列表を見ながら竹支柱の目印テープを基準にして植える位置に割り箸で目印をする
- 整然と並ぶように意識する
- 特に最前列はまっすぐ等間隔になるように注意

ここ大事!

- 事前に苗木を配列表の順に歩道に並べ直して確認する
- ただし、配布したトレイに無い番号や間違いも混じっているので飛ばして歯抜けになったままにしておく



番号順に並べてみる 歯抜けを確認

歩道が狭いので通行人の方に迷惑にならないように作業してください

② 植え付けの根鉢を掘る

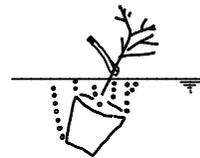
一旦苗木を植える場所に仮置きして掘る大きさ・深さを確認



苗木によって大きさがかなり違うので先に大きなスコップでしっかり掘り崩して十分な大きさに掘る土が柔らかければ根をしっかり張れ丈夫に育つのでがんばる(小さいコテは折れ曲りやすいので曲がる方向に力をかけないこと 進行方向に崩してからすくう)

③ 水漬け

乾いた土壤に根付きを良くするため、ビニールのカップごと数秒たっぷり漬けてください。



ここ大事!

グクグクいなくなるまで漬ける

⑤ 土かぶせ

ビニールのカップから苗木を取り出し、穴に入れ土を戻し根付くように折りながら幹の周りを手で包んで丁寧に周囲を手で押しこむ



④ 土壌活性剤「ワカホ」投入

スコップひとすくいちょっと(300cc=コップ1.5杯)苗木の大きさに応じて調整



⑥ 土手づくり

苗木のまわりに水が溜まるように鉢状に盛り上げる



ひとつ完了! 次の苗へ

苗木リスト

①... 落葉樹、②... 常緑樹

全て関東在来種

配列順

- ① ツリバナ _ 吊り花
- ② イヌツゲ _ 犬柘植
- ③ カマツカ _ 鎌柄
- ④ アラカシ _ 粗樫
- ⑤ ガマズミ _ 莢蒾
- ⑥ アカマツ _ 赤松
- ⑦ イロハモミジ _ いろは紅葉
- ⑧ モチノキ _ 鶯
- ⑨ コゴメウツギ _ 小米空木
- ⑩ シロダモ _ 白櫛
- ⑪ サワフタギ _ 沢蓋木
- ⑫ サカキ _ 榊・本榊
- ⑬ コムラサキ _ 小紫(紫式部)
- ⑭ クチナシ _ 梔子
- ⑮ クサボケ _ 草木瓜
- ⑯ マサキ _ 枳
- ⑰ モミジイチゴ _ 紅葉莓
- ⑱ クロマツ _ 黒松

配列順

- ⑲ ヤマツツジ _ 山躑躅
- ⑳ ヤブニッケイ _ 藪肉桂
- ㉑ ユキヤナギ _ 雪柳
- ㉒ アカガシ _ 赤樫
- ㉓ イボタノキ _ 水蠟樹
- ㉔ チャノキ _ 茶
- ㉕ ヤブデマリ _ 藪手毬
- ㉖ ヒイラギ _ 柊
- ㉗ ノイバラ _ 野茨
- ㉘ ヤブツバキ _ 藪椿
- ㉙ ヤマブキ _ 山吹
- ㉚ アセビ _ 馬酔木
- ㉛ カジイチゴ _ 構莓
- ㉜ ヒサカキ _ 柃
- ㉝ ハナイカダ _ 花筏
- ㉞ センリョウ _ 千両
- ㉟ シモツケ _ 下野
- ㊱ ネズミモチ _ 鼠麴
- ㊲ テリハノイバラ _ 照葉野茨
- ㊳ タブノキ _ 榊

全 38 種

仕様

土壌

赤土、パーライト、ビーナスライト、クリノゼオライト、サンカルシウム、ワカホ

本プロジェクトについて

「藝大ヘッジ」は混植の低木生垣によるゆるやかな境界づくりとして2016年より実験的に進めてきたプロジェクトです。

大学キャンパス外周の老朽化した鉄の柵を緑の植栽帯に置き換え、開かれた大学として地域と繋がる姿に変えていくもので、今回の「藝大ヘッジ8」で9回目の植樹となります。現在までに延長400m超、苗木の数にして約7,700本超を植樹をしており、今回の植樹では本学を貫通する都道の北岸に植樹します。それにより赤レンガ前から上野桜木方面がさらに35mの延伸と約800本の苗木が植えられることとなります。

この植樹の特徴として40種以上の武蔵野地域の在来種を用い、落葉樹・常緑樹を織り交ぜて四季折々の花や新緑、紅葉、そして結実が楽しめるものとなっています。植えられた苗木は腰高で密集するように剪定をしながら育てていきます。剪定などお手入れにはこれまで学生の協力を得て当たってきていますが、少しずつ地域の方にも加わっていただき、一緒にこの活動を育てていきたいと考えています。今後も少しずつ段階的に延伸をしていくことを目指しています。さらに上野公園の一員として、公園全体にこの取り組みが広がっていくことも願っているところです。

今回の植樹は社会福祉法人進和学園いのちの森づくり友の会基金の苗木寄贈、藝大アートプラザのグッズ売上からの寄付、大丸松坂屋+三菱ケミカルのAnotherADress事業からの寄付など、多くの支援を受けて実現しました。この場を借りて御礼申し上げます。

スタッフ

主催

東京藝術大学キャンパスランドデザイン推進室

協力

東京藝術大学 施設課、美術学部デザイン科第5研究室 (Design Place)

植栽指導

田瀬理夫 (プランタゴ)

施工

富士植木、エイワ建設

<https://geidaicgd.wixsite.com/geidainomori>



facebook 「geidaicampus」

Instagram 「geidainomori」